

整理番号	47-1	事務事業名	スポーツフェスティバル開催事業	作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H6	根拠法令等						
〃終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市民が、生涯にわたって健康で明るい生活を送れることと、地域及び世代間の交流機会を助長するため、各世代にあった幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムを長期間にわたって提供することを目的とした。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	スポーツとレクリエーション	(第5節)
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	様々なプログラムを通じて、健康・体力づくりは楽しいものであることを体験するとともに、以後、自ら積極的にスポーツ・レクリエーション活動を実行することにより、心身の健康管理に関心を持ってもらう。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	1. 元気出すカーニバル(総合体育館を会場にスポーツ・健康をテーマにしたイベント) 2. 30Km歩ける会(30キロのコースを自分のペースで歩くイベント) 3. ハーフマラソン大会(視覚障がい者を含む大会) 上記3事業を9月上旬から10月中旬にかけて実施している。
		17年度	今年度より、きたひろしまスポーツフェスティバル実行委員会への補助となり、同実行委員会では上記3事業のほか、エルフィンロード活用事業(1. 自然観察会・2. 花水木ウォーク・3. フォトコンテスト・4. 歩くスキー)を6月中旬から2月中旬にかけて実施する。

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金		921	1,200	1,200
	地方債				
	その他特財	1,817	2,179	3,300	3,300
	一般財源				
	合計	1,817	3,100	4,500	4,500
人件費(概算)	人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	2,700	2,700	2,700
総事業費 +		4,517	5,800	7,200	7,200

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	事業参加人数	3,386人	3,387人	3,600人	3,600人
	・元気出すカーニバル	3,245人	2,490人	2,500人	2,500人
	・30km歩ける会	116人	115人	150人	150人
	・ハーフマラソン大会	125人	380人	500人	500人
	・エルフィンロード活用事業		402人	450人	450人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	市内各体育施設利用者総数 (総合体育館外28施設)	293,879人	297,187人	300,000人	303,000人
	体育協会加盟人数	2,506人	2,458人	2,576人	2,576人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人当たり費用 (総事業費/事業総参加者数)	1,334円	1,712円	2,000円	2,000円

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民の健康・体力づくりへの意識は、いつの時代も高いものがあるとともに、そのニーズはますます多様化してきている。また今後は、高齢社会の進行を見据えた、健康・体力づくりの機会を拡充することが求められてくる。
---------------------------------	---

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の健康・体力づくりの機会の提供と主体的な活動へのきっかけづくりを、行政が関与しながら市民との共同開催を目指すことは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	健康・体力づくりへの意識は常に高く、そのニーズも多様化の一途をたどっている。従って、その意識、ニーズに応えるこの事業の目的は、妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	常に高い、健康・体力づくりへの意識と、多様化の一途をたどるそのニーズに応えるには、期間を設け、幅広いプログラムを提供できる今の手段が妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)  該当しない	適切である。(参加料を徴収している)	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市民のニーズに合った、幅広い様々なプログラムを提供することにより、主体的な活動を行う市民が増えた。(市内体育施設利用人数の増により、成果が上がっているものと見る)	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事業自体が市民に定着し、幅広い年齢層の参加があることから、十分効率的と考える。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民のニーズの傾向を把握し、発展的に解消するもの、新たに加えるものなど事業内容の見直しを行うとともに、市民との共同開催を実施することにより、市民の手による事業の拡大を推進していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民参加による事業の拡大を推進する。